



2026年5月11日

各 位

会 社 名 株式会社テクノメディカ
代表者名 代表取締役社長 實吉 政知
(コード：6678、東証スタンダード)
問合せ先 取締役 経営管理本部長 中原 志郎
(TEL. 045-948-1961)

配当方針の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年度中期経営計画（26中計）期間中（2027年3月期～2029年3月期）の配当方針を、下記の通り決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当方針変更の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要施策の一つと位置付けし、経営環境、業績を裏付けとする成果の配分と、内部留保額の決定をおこなうことを基本方針としておりますが、26中計期間においては、キャッシュアロケーション方針※に基づき、株主還元を強化してまいります。

配当につきましては、原則として配当性向80%以上を目標とし、各期の経営環境を総合的に勘案した上で決定してまいります。加えて、自己株式の取得につきましても、適宜実施してまいります。

※キャッシュアロケーション方針…2029年3月末の最適現預金水準を設定し、それを超える資金を成長投資、戦略投資（M&A等）、株主還元配分する。

2. 変更内容

（変更前）

当社は、株主の皆様への利益還元を重要施策の一つと位置づけし、経営環境、業績を裏付けとする成果の配分と内部留保の決定を行うことを基本方針としています。

これまで、安定配当を維持するとともに、配当性向30～40%を目安に配当を実施して参りました。中長期的には、配当性向30～40%の目安に加え、総還元性向50%を実現することを目指して参ります。

（変更後）

26中計期間（2027年3月期～2029年3月期）において、キャッシュアロケーション方針に基づき、株主還元策として、配当性向80%以上、総還元性向150%を目指してまいります。

配当を第一に考えますが、自己株式の取得につきましても、必要に応じて資本効率の改善を目的に実施してまいります。

なお、特殊要因にかかる一時的な損失や利益計上により、当期純利益が大きく変動する場合は、その影響を考慮し配当金額を決定します。

3. 変更時期

2027年3月期より2029年3月期まで適用いたします。

以 上